

2. 永井雅人, 栗山進一, 柿崎真沙子, 大森 芳, 寶澤 篤, 橋本修二, 辻 一郎.
体格と生涯医療費の関連—大崎国保コホート研究— (口演).
第 68 回日本公衆衛生学会総会, 奈良, 2009 年.

O1502-8

体格と生涯医療費の関連—大崎国保コホート研究—

○永井 雅人¹⁾、栗山 進一¹⁾、柿崎 真沙子¹⁾、大森 芳¹⁾、寶澤 篤¹⁾、
橋本 修二²⁾、辻 一郎¹⁾

東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野¹⁾、藤田保健衛生大学医学部衛生学²⁾

【目的】これまで体格が医療費に多大な影響を及ぼすとの報告が多数されている。一方、肥満者は短命である分、生涯医療費は少ないかもしれないという議論もある。しかし、実測に基づいて体格と生涯医療費の関連を検討した研究は少ない。そこでコホート研究により体格と生涯医療費との関連を検討した。【方法】平成6年のベースライン調査に回答した宮城県大崎保健所管内の40～79歳の国民健康保険加入者43,972名（男性: 21,038名、女性: 22,934名）を12年間追跡した。Body Mass Index (BMI)は自己回答による身長、体重から算出し、 $<18.5 \text{ kg/m}^2$ （やせ群）、 $18.5-24.9 \text{ kg/m}^2$ （普通体重群）、 $25.0-29.9 \text{ kg/m}^2$ （過体重群）、 $\geq 30 \text{ kg/m}^2$ （肥満群）に分類した。40歳から5歳階級ごとの総人年、死亡者数より各年齢階級の死亡率を体格別に算出し、生命表により体格別の40歳時の平均余命を算出した。そして、生存者と死亡者の平均年間医療費より40歳以降の生涯医療費を算出した。【結果】40歳男性の平均余命は過体重群が最も長く40.46年であり、次いで普通体重群: 38.71年、肥満群: 37.87年、やせ群: 33.81年であった。生涯医療費は過体重群が最も高く1,447.1万円であり、次いで肥満群: 1,436.6万円、普通体重群: 1,261.0万円、やせ群: 1,168.7万円であった。40歳女性の平均余命は過体重群が最も長く46.96年であり、次いで普通体重群: 46.27年、肥満群: 44.88年、やせ群: 41.12年であった。生涯医療費は肥満群が最も高く1,830.7万円であり、次いで過体重群: 1,622.3万円、普通体重群: 1,423.7万円、やせ群: 1,380.7万円であった。【考察】普通体重群と比べて、肥満群では平均余命が男性で0.84年、女性で1.39年短いのに対して、生涯医療費は男性で14%、女性で29%も高額であった。

3. 永井雅人, 栗山進一, 大森 (松田) 芳, 寶澤 篤, 辻 一郎, 橋本修二.
歩行時間と平均余命及び生涯医療費との関連について (口演).
第 20 回日本疫学会学術総会, 埼玉, 2010 年.

OP66

Impact of walking upon life expectancy and lifetime medical expenditure

歩行時間と平均余命及び生涯医療費との関連について

Masato Nagai/永井雅人 1), Shinichi Kuriyama/栗山進一 1), Kaori Ohmori-Matsuda/大森 (松田) 芳 1), Atsushi Hozawa/寶澤 篤 1), Ichiro Tsuji/辻 一郎 1), Shuji Hashimoto/橋本修二 2)

1) Division of Epidemiology, Department of Public Health and Forensic Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine/東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野、2) Department of Hygiene, Fujita Health University School of Medicine/藤田保健衛生大学医学部衛生学講座

背景と目的:

身体活動は生活習慣病を予防し、一定期間の医療費も抑制することが報告されている。しかし、歩行時間/日と平均余命、生涯医療費の関連を検討した研究は少ない。本研究の目的はコホート研究により歩行時間/日と平均余命及び生涯医療費との関連を検討することである。

方法:

平成 6 年のベースライン調査に回答した 40-79 歳の男女 52,029 名 (回収率: 95%) のうち、心筋梗塞・脳卒中・関節炎の既往歴がある者、強い運動を要する活動または中程度の運動量の活動ができない者、身体に強い痛みがある者、1 年以内に死亡した者、追跡開始前に国保から異動した者、歩行時間を回答していない者を除外した 27,738 名 (男性: 15,521 名、女性: 12,217 名) を 14 年間追跡した。対象者を自己回答による歩行時間/日別に、1 時間以上/日と 1 時間未満/日に分類した。Chiang's の方法を用いて歩行時間/日別に 40 歳から 5 歳階級毎の総人年、死亡者数より各年齢階級の死亡率を算出し、生命表から 40 歳からの平均余命と 95%信頼区間 (CI) を算出した。そして、生存者と死亡者の平均年間医療費より 40 歳からの生涯医療費と 95%CI を算出した。

結果:

男女とも 1 時間以上/日が 1 時間未満/日に比し、平均余命はそれぞれ 1.61 年、0.95 年長く、生涯医療費はそれぞれ 75.1 万円、16.4 万円安かった (表)。

結論:

1 時間以上/日歩く群では平均余命が長く、生涯医療費はむしろ低いことが示された。

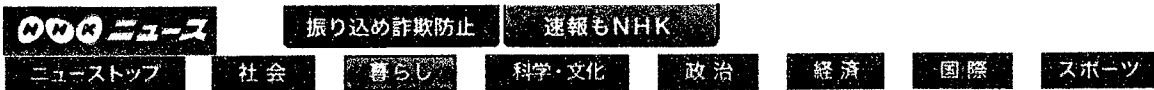
表 歩行時間/日別の平均余命及び生涯医療費と 95%CI

	男性		女性	
	1 時間未満	1 時間以上	1 時間未満	1 時間以上
平均余命 (年)	42.95	44.56	54.35	55.30
95%CI	42.38-43.52	44.00-45.11	53.64-55.06	54.50-56.10
生涯医療費 (万円)	1,312.4	1,237.3	1,568.4	1,552.0
95%CI	1,256.8-1,368.0	1,177.6-1,296.9	1,461.9-1,674.9	1,418.2-1,685.7

【報道】

1. NHKニュース, 2009 年 4 月 24 日. 「生涯医療費-肥満の人は高い」

NHKニュース 生涯医療費 肥満の人は高い



生涯医療費 肥満の人は高い

4月24日 4時39分

肥満の人は生活習慣病などにかかりやすく、医療費がかさむことが知られていますが、東北大学を中心とする厚生労働省の研究班の調査によりますと、40歳以降、死亡するまでにかかる医療費は、肥満でない人より300万円以上も高くなることがわかりました。

東北大学大学院の公衆衛生学などのグループを中心とした厚生労働省の研究班は、体格と医療費の関係を調べるため、宮城県内の中高年の男女5万人余りを12年間にわたって追跡調査しました。その結果、40歳になって以降、死亡するまでにかかる医療費が最も高いのは、男女とも、肥満の度合いを示す指標、BMIが30以上の「肥満」の人で、平均の医療費は男性がおおよそ1520万円、女性がおおよそ1860万円でした。これは、男性の場合、最も医療費の少ない「やせ型」の人と比べておおよそ320万円、女性では、最も少ない「標準体重」の人と比べておおよそ380万円も高くなっています。今回の結果について、調査を行った東北大学大学院の栗山進一准教授は「これまで肥満の人は、寿命が短い分、一生でみると医療費も少ないのではないかという議論もあったが、まちがっていることが実証された。肥満対策は、医療費を削減する観点からも重要であることを示している」と話しています。

閉じる

ご意見・お問い合わせ | NHK における個人情報保護について | NHK 著作権保護 | NHK オンライン利用上の注意

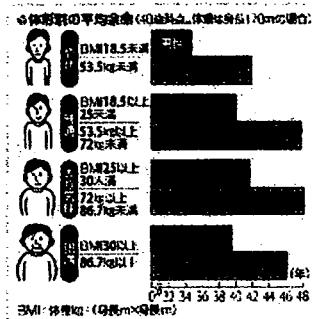


Copyright NHK (Japan Broadcasting Corporation) All rights reserved. 許可なく転載することを禁じます。

2. 読売新聞, 2009年6月10日. 「やっぱり『ちょい太』、やせ形より7年長生き」

やっぱり「ちょい太」、やせ形より7年長生き…厚生省調査

6月10日14時32分配信 読売新聞



拡大写真
読売新聞

40歳時点の体格によってその後の余命に大きな差があり、太り気味の人が最も長命であることが、厚生労働省の研究班(研究代表者=辻一郎東北大教授)の大規模調査で分かった。

最も短命なのはやせた人で、太り気味の人より6~7歳早く死ぬという、衝撃的な結果になった。「メタボ」対策が世の中を席巻する中、行きすぎたダイエットにも警鐘を鳴らすものといえそうだ。

研究では、宮城県内の40歳以上の住民約5万人を対象に12年間、健康状態などを調査した。過去の体格も調べ、体の太さの指標となるBMI(ボディー・マス・インデックス)ごとに40歳時点の平均余命を分析した結果、普通体重(BMIが18.5以上25未満)が男性39.94年、女性47.97年なのに対し、太り気味(同25以上30未満)は男性が41.64年、女性が48.05年と長命だった。しかし、さらに太って「肥満」(同30以上)に分類された人は男性が39.41年、女性が46.02年だった。

一方、やせた人(同18.5未満)は男性34.54年、女性41.79年にとどまった。病気でやせている例などを統計から排除しても傾向は変わらなかった。やせた人に喫煙者が多いほか、やせていると感染症にかかりやすいという説もあり、様々な原因が考えられるという。

体格と寿命の因果関係は、はっきり分かっていない。このため、太り気味の人が長命という今回の結果について、研究を担当した東北大の栗山進一准教授は「無理に太れば寿命が延びるというものではない」とくぎを刺す。

同じ研究で、医療費の負担は太っているほど重くなることも分かった。肥満の人が40歳以降にかかる医療費の総額は男性が平均1521万円、女性が同1860万円。どちらもやせた人の1.3倍かかっていたという。太っていると、生活習慣病などで治療が長期にわたる例が多く、高額な医療費がかかる脳卒中などを発症する頻度も高い可能性があるという。

最終更新:6月10日14時32分

YOMIURI ONLINE

11日(日曜日)

13版

社会

30

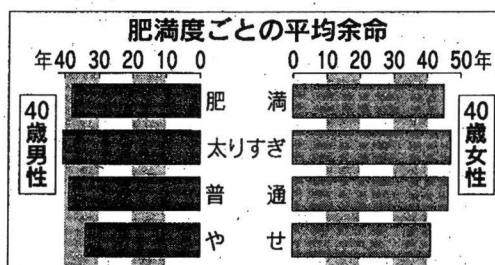
「やせ」太り過ぎより短命

40歳の人の平均余命は、肥満度別にみると「やせ」の人が最も短く、最も長い「太りすぎ」の人より6年程度短命との研究結果を、東北大公衆衛生学の研究グループが10日までにまとめた。

東北大研究グループまとめ

き、18・5未満を「やせ」、18・5以上25・0未満を「普通」、25・0以上30・0未満を「太りすぎ」、30・0以上を「肥満」と分類。宮城県内の40〜79歳の男女約4万4千人を1995年から2006年まで追跡調査し、分析した。

40歳余命、6年の差



分析した大学院生の永井雅人さんは「やせすぎると細胞の機能低下などで血管の壁が破れやすくなるなどして、循環器疾患による死亡リスクが上昇するとの報告がある」と指摘。さらに、「栄養不足が体の抵抗力を減少させるため、やせでは肺炎などにかかるリスクが高まる」との研究もある。今回の結果は、そうした影響によるのでは」と話している。

47・0年)。以下は「普通」(男性38・7年、女性46・3年)、「肥満」(男性37・9年、女性44・9年)、「やせ」(男性33・8年、女性41・1年)の順。

厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））
「生活習慣・健診結果が生涯医療費に及ぼす影響に関する研究」
（H19-政策一般-026）

平成 21 年度総括・分担研究報告書（平成 22 年 3 月）

発行責任者	研究代表者	辻 一郎
発 行	仙台市青葉区星陵町 2-1	
	東北大学大学院医学系研究科	
	社会医学講座公衆衛生学分野	
	TEL	022-717-8123
	FAX	022-717-8125

